

東京農業大学
福島県 東白川郡 鮫川村

SATOYAMA Creators

目次

1. SATOYAMA Creatorsとは？
2. 本事業への応募理由は？
3. 真坂公園のイメージと実態
4. 活動より発見した課題、生かすべきこと
5. 課題解決のための提案、考察
6. 今後に向けて

SATOYAMA Creatorsとは？

文化が景観を作り、教育で文化をつなぐ！

学んでいることは？



里山景観保全、環境教育、
里山の文化継承、地域づくり

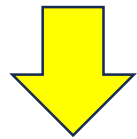
目的は？

- ①大学生が、地域の住民、役場の方と交流しながら、里山の文化や自然を学ぶ
- ②里山資源を生かした地域づくり、地域活性化を図る

本事業への応募理由は？

私たちは、福島県東白川郡鮫川村の真坂公園を中心とした地域住民の方々と交流を重ねてきた

そこで、目のあたりしたのが、**人口減少**や**高齢化**の影響で地域住民だけでは、**集落の維持管理が困難**になってきているという現状であった



学生が集落に入り、**学生がもつアイデア**と地域住民の方々の希望を融合し、真坂公園をより**地域の方々が愛着を持てる場所**にするお手伝いをしたいと考えた





真坂公園の イメージと実際

真坂公園のイメージは？

- ・ 集落の中心である公園が手入れされていないため、うっそうとしていた
- ・ 少し暗い印象を受けた

実際は？

- ・ 公園を整備してみたら、小川や東屋があって良い公園だと思った
- ・ ドウダンツツジも周りの草木に覆われていたが、整備したことで姿を現にし、花の咲く時期に見たいと思えるようになった
- ・ 多様な樹木があるので、四季折々の景色を見ることが出来ることに気づき、魅力的だと感じた

活動により発見した課題、生かすべきこと

活動により発見した課題は？

- ・現在では公園の利用があまりされていない
- ・集落の行事が行われなくなっている

生かすべきことは？

- ・とりあげ石
- ・西小屋などの集落行事
- ・イルミネーション



課題解決のための考察、提案（今後にもむけて）

●考察

日常的に公園に人があまりいない状態であると考えられ、利用が進まないことに繋がっている
→立ち寄りたいたいと思ってもらえる場所にすることが重要である

●提案

- ・とりあげ石やイルミネーション等の見所を集落の外にまで広く発信する
- ・集落の方々も行事や集会等の開催によって公園に立ち寄る機会を増やしてもらう
- ・その過程で、学生が管理作業や行事と一緒に参加することで交流生む



ご清聴ありがとうございました。